

2009年11月25日

相模原市長 加山俊夫 様

さがみはら子育てネット 代表 堀井 雅
古淵保育園保護者会 会長 坂本 剛

「公立保育所活性化・民間移管計画」検証とその公表のお願い

寒冷の候 貴職におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より市民の生活・福祉等の増進にご尽力いただき、ありがとうございます。

私たちは、子どもが古淵保育園に通園する保護者で構成する古淵保育園保護者会と、卒園した保護者を中心に
大野中・大野台地域で子どものよりよい子育て環境を市民の立場から考えるさがみはら子育てネットです。

さて、市では2002年3月に「公立保育所活性化・民間移管計画」を策定し、公立保育所18園（当時の旧
相模原市域）のうち4園（橋本、南大野、文京、古淵保育園）の民営化を計画され、2010年3月の古淵保育
園民営化により終了します。

私たちは、このまちの財産である子どもたちがこれからも健やかに育っていけるように、そして市の保育行
政がこれからも子どもたちの立場で行われるように心から期待するとともに強く願っており、このため、これ
までの民営化の経過と結果の検証と、検証機関の設置について次のとおりお願いいたします。

1. 市行政による検証結果の公開について

民営化の推進に伴い、4園の子ども達や保護者、保育士を中心に多くの負担があったと思います。また、
保育課においてもそれにかかる事務量は相当であったと承知しています。

公立保育園の民営化は、関わったすべての人と将来の子ども達に何らかの影響を与えるものと思います。
これらのことを踏まえて、次の点について具体的に検証し、広く市民に公開してください。

- ①同計画の推進で得たもの、失ったものは何か
- ②民営化による子ども達の保育環境の変化
- ③計画の目的である地域子育て支援施策の展開、延長保育・一時保育などの特別保育への対応など
の公立保育所の活性化や施設老朽化への対応
- ④柔軟な保育の実施、人材の有効活用、財源の有効活用など民営化による数値効果・達成状況
- ⑤民営化後の相模原市行政の責務と今後の計画

2. 市民主体による「民営化検証委員会」（仮称）の設置について

市による検証以外に、民営化を経験した保護者や保育士、運営受託・応募法人、同計画の元になった「公
立保育所あり方検討会」のメンバーを含め、市民参加による民営化外部検証委員会を設置し、客観的な評価
を行ってください。

3. 計画見直し等について

現計画の見直しや新たな民営化計画を検討・策定する場合には、上記検証および外部委員会の評価
を踏まえて検討するようにしてください。また、既に検討に着手している場合は、現在の検討状況をお知らせ
ください。

ご多忙のところ恐縮ではございますが、以上3点について12月21日（月）までに文書でご返事くださ
いますようお願い申し上げます。

連絡先：堀井雅

相模原市*****